

# 蒔絵と書道の出会い

チーム「『書』どう？」

## 背景

書道を学ぶ中で、伝統的な文化や芸術に興味を持った。また、長野県には多くの「伝統工芸品」があることを知り、「木曾漆器」に関心を持った。



①「蒔絵」を教材として扱った高校書道の授業実践をもとに、蒔絵と書道を融合させた作品を制作したい。

②作品制作の成果を、学校教育や生涯教育の発展への寄与、地域貢献に生かしたい。

## 目的

①書道と蒔絵との融合を図った作品制作を行う。

②①の成果を多くの人に発信することで、長野県の伝統文化・芸術の保存や継承に貢献する。

## 全体の事業計画

### 本年度

- ・蒔絵と書道を融合させた作品を制作する。
- ・書道、蒔絵、漆器等伝統文化や芸術について専門知を深める。
- ・2月に行われる学生書道展を通して、信州大学の学生及び教職員の皆様、地域の方々に成果を発表する。



### 来年度以降

- ・地元の小中学校や高等学校と連携し、蒔絵と書道を融合させた作品を児童生徒と共同制作する。
- ・学校公開日等を利用し、保護者や地域の方に作品制作の成果を発表する。

## 本年度の活動計画

5月2日：ちきりや手塚万右衛門商店訪問

6～9月：作品制作のための準備と予行練習

10～11月：蒔絵と書道を融合させた作品制作  
3回の講師講座、1回は学生のみで実施

12月～1月：学生書道展の準備

2月：学生書道展の開催

3月：プロジェクトの振り返り  
次年度以降の実施計画作成

## 作品制作案

(手塚希望さんの作品 5月2日 ちきりや手塚万右衛門商店にて)



## 経費

品名、工事名、用務先等	規格、その他内容等	数量	金額(円)
材料費 道具代	生漆 200g(チューブ入)	1	5,800 円
	木皿、黒塗りの皿(各1枚)	9	+4,000 円×9 人
	蒔絵筆	1	+1,460 円
	塗り込みをする筆	1	+2,500 円=45,760
謝礼金	講師講座費(3時間×3回分)	1	4,900 円×3 時間×3 回分=44,100
講師旅費	木曾平沢～長野の電車賃(往復)	3	3,380 円×3 回分= 10,140

## 安全面

漆を使用する際には、講師の指示に従い、都度手指の洗浄、換気を行う。また、作業の際には手袋を着用し、肌に直接漆が付着しないようにする。

新型コロナウイルス対策として、教室の換気、手指の消毒、手洗いを行う。

## 個人情報

プロジェクトを通して得た参加者の個人情報は、本プロジェクト以外における使用を一切認めない。また、それらの情報は本プロジェクト終了後適切な処理を行う。

## 質疑応答

1, 2月開催の学生書道展での作品展示とパネル発表を通して想定している成果の公開について、(1)ここで見込まれる成果とはどのようなものですか。(2)その成果は信州大学の学生や教職員、地域の方々にどのようなインパクトをもたらすと考えていますか。

⇒(1)・木曾漆器、蒔絵の認知度を上げる

・文字文化への関心を高める

(2)・木曾漆器や蒔絵を知る機会がない方々に対して知る機会を与え、興味を持ってもらい、親しんでもらう

・郷土愛を育む

・伝統文化への感性を養うきっかけにする

2, 蒔絵と書道という点で、大変興味深い取り組みであるが、成果発表が学生書道展だけではもったいない気がする。もっと広報したり、広められるような展開は考えられないか。

⇒・信州大学のHPやYouTube、SNSを通しての宣伝・成果発表

・木曾漆器や蒔絵を全国的に広める活動をしている手塚さんのご協力のもとで広報活動

・新聞社や地方テレビ局等の報道機関各位への通知

→今年度も、新聞記事やテレビ番組等で学生書道展について取り上げていただく